

<日本人の行動特性>

今日は領土問題を題材として、日本人の行動特性、サブタイトルとして、論理性を養おうというテーマ約2時間、一緒に勉強していきます。最後までお付き合いください。

最初にこの研修前に社長から「塩野時雄」のネット検索せよという課題が出されたと思いますが・・・検索されましたか？

Kさん「はい」

「どんな中身の人物なのか分かりましたか？」

Kさん「特に私立高校を再生させるような、野球で言えば、野村監督のような再生工場的な感じの仕事をしているという紹介がありました。

教科書的な回答ですね(笑)これは何もネット検索するほど有名だからえらいということではないんですね。これは2週間くらい前の出来事なんですけども、あるクレジット会社と連絡を取りました。そうしたら、私の塩野時雄というアカウントが正確に入ってなかったようです。そのため、「どちらの塩野時雄さんですか」と聞かれました。何と塩野時雄が6人も登録されていて、塩野時雄を特定できないという事がありました。

そこで思ったのが、色々な塩野時雄がいてそれぞれの人生を歩んでいるなど・・・そういう人たちの中には警察官がいたり、電力会社の社員がいたり、あるいは泥棒がいたり
と・・・私は、泥棒ではありませんよ(笑い)6人の塩野時雄が、さまざまな見方をされて

いるのだろうと思ったわけです。角度を変えた見方ということが、今日の研修会の大事なモチベーションになりますので、ネット検索をしていただきました。

私は、埼玉出身なんですけども、お土産らしいものがないものですから・・・

(すでに社長から参加者に著作(エンターテイメント小説・創作の基本)が配布されている)私は、プロ、アマ問わずに小説の添削するのが専門でありまして・・・たいしてお土産にならないですが、名刺代わりにという事で・・・

一番の得意技がリライトです。”筒井康隆”が「天狗の落し文」という本を出したんですね。

通常ですと著作権の問題がありますので事前に連絡をとったりします。ところがこれはもう勝手に引用していいよ、どういう風にしてもいいよという事でしたので勝手に引用しました。”筒井康隆”の原作と私の改作と比べてみていただければ、どちらが本当に面白いかな・・・家に帰って暇なときにでも見ていただければと思います。

今、手元にレジメが配られています。穴埋め形式で、キーワードを記入するようになっていますが、その都度記入する時間を取るわけではありません。私のスピーチを聞きながら、書き込むようにしてください。この研修終了後に、レジメを含めてレポートを社長宛に提出して頂きますので、最後まで集中して、取り組んでください。

それでは、本題に入っていきます。まず、最初に物の見方という話なんですけども、まず、みなさんボールペンを持っていますね。ボールペンを目の前で縦と横で見てください。

これはボールペンですから小さいので誤差はありません。ところがこれが大きくなるほど、見方がまったく変わります。人間というのは目が横についていますよね。斜めについている人はいませんよね。(笑い) 人間というのは目が横についていますので、横のほうが見易いんです。なので、縦になれば長く感じます。これが 1m、2m と長くなるに従って更に誤差が広がります。長くなればなるほど、縦のほうが長く見えるようになります。事柄が大きくなればなるほど、誤差が大きくなり、判断が狂い易いということです。立場によって、全く変わってきます。

例えば、

(Uさんに振る)

塩野 「Uさん、何十万給料取ってますよね？社長は払いすぎていると思っているかもしれませんが」

(社長に振る)

塩野 「社長は、Uさんに払い過ぎていると思っていますね？」

社長 「正直に言えません (笑い)」

(再びUさんに振る)

塩野 「Uさんは、もらいすぎているとは思っていませんよね？」

Uさん「はい（笑い）」

塩野時雄「もっともらいたいと思っていますね？」

Uさん「はい（笑い）」

正直ですね。（笑い） こういうふうには、立場によって変わってくるんですよ。社長は、
払いすぎていると思っているかも知れませんよ。しかし、この場で本当の気持ちを言えな
い・・・辛い立場ですね。社長というのは（笑い）社員のほうはもらいすぎているとは思
っていないですね。少ないと思っているんです。だいたい・・・大した仕事をしてしてな
いかも知れないですけど、給料が少ないと思っている人が多いのが現実だと思います。
立場によって見方が変わりますよね。これが、今日のスピーチの前提となります。領土問
題というのは立ち位置によって変わってくるんですよ。こちらをご覧ください。

（ホワイトボードの尖閣諸島と竹島周辺のそれぞれの拡大地図を示す）

尖閣諸島は中国に近いですよ。目の前にあるんです。竹島もそうですね。韓国にとっても
近いです。ここでどういう風に考えるかということですが、個人の環境で考えてください。
例えば、日本は自分ですよ、真正面は韓国だから”かんさん”です。どこかで聞いたこ
とがある名前ですね。（笑い）左隣は中国だから”ちゅうさん”です。目の前に”かんさん”
がいて、左に”ちゅうさん”がいます。その間に荒地だと思っていた所が、実はおいしい土
地だと分かった。金銀財宝が眠っていると・・・何にもない土地だと思ったら、石油が取

れると・・・当然、両家で話し合いになりますよね・・・「ここは俺の家の土地だ」と・・・
相手の言い分を認めて無抵抗で譲ってきたと家に帰って言えますか？奥さんが、何て言いますか？

(女性社員に振る)

女性社員「怒ります。取ってくるまで、帰って来るなってと言います(笑い)」

そうですね。いい土地なのに譲ったなんて言ったら、奥さんに何を言われるかわかったもんじゃないですよ。別に韓国や中国がひどいことを言っているわけではありません。普通のことを言っているだけなんです。逆の立場で考えたらやっぱり言いますよ。目の前にあるんだから。台湾も言っているんです。菅さんは領土問題は発生していないと呑気なことを言っている。中国も台湾も言っているんです。竹島も韓国が言っているんです。

国際的な領土問題は、国際司法裁判所っていうのがあるんですね。オランダにあります。

そこに申し出るわけです。そうするとジャッジするわけです。

その際に理由が必要になりますね。例えばこの竹島。日本が2回、国際司法裁判所に申し出ています。これには韓国が出てきません。韓国は出てこないんですよ。出たら負けるのがわかっているから。だから、宙ぶらりんの状態が続いているんです。今日までずっと続いてるということです。

今回は、2つ目の課題として、中国は尖閣諸島の領土をどのように言っているか調べるという課題がでていたと思います。

(Oさんに振る)

塩野「中国は、どんな主張をしていますか？」

Oさん「中国の領土なので、資源は中国のものだ」

中国側の根拠は、ほとんどありません。何か理由をこじつけて、自分のものだと言います。

屁理屈ですね。

中国は、大きく分けると3つ言っています。

1403年「順風相送」という書物に尖閣諸島のことが書かれています。要は、俺のほうが先

に見つけたんだと言っているんですね。これが1つ目ですね。

2つ目は、1785年なので、江戸時代です。日本に林子平という儒学者がいたんです。こ

の民間人の書物の中に中国の領土と記載されていると。中国の領土と同じ色を使って、地

図を書いていると。

3つめ、1895年、日清戦争の終結の際にかすみ取ったと言っています。清国が戦争に負

けたから、かすみ盗られたとこういう事を言っているのです。

実際には、下関条約の講和内容には入っていません。日本は10年かけて、島を調査して、

この領土は間違いなくどこの国にも所属していないということで1905年、日清戦争の後で

ですね。日本が領土宣言をしたのです。どこの国も反論する国はありません。どこの国にも

所属していないからです。

同じように北方領土。ここで詳しく言う時間はありませんけども。北方領土もそうなんです
すね。

(kさんに振る)

塩野「北海道というのはいつから日本の領土ですか？」

kさん「明治の頃ですか？」

その通りです。江戸時代にこんな話があります。当時、北海道に松前藩が置かれていま
した。宣教師が、松前藩の役人に「キリスト教の布教を認めて欲しい」と申し出たんです。
その時、松前藩の役人はどう答えたか。「ここは日本ではないから、いいよ」と返答したん
です。北海道は、当時日本の領土ではなかったのです。江戸幕府の支配地に入っていな
い、どこの国にも所属していない。

領土問題の基本は早いもん勝ちなんです。喩えて言うと、財布が落ちているとしますね。

素早く拾って、「俺の物だ」と自分の所有物にする。まさに速攻勝負。これが領土獲得の基
本です。北方領土も明治の新政府は、どこの国にも所属してないことを確認してから日本
の領土に組み入れたのです。「落し物」と同じですよ。

今回の事前質問にありましたけども、諸外国がどう見ているかという質問がありまし
た。当事者以外の国は、関心がないんです。この宇都宮周辺で土地紛争があるとしますね。
他の県の人に関心あると思いますか？諸外国は関心を持っていません。自分の国の領土に
なるから関心があるんです。目の前にあるから関心があるんです。遠くの地域は関心なん

てありませんよ。

南極のことなんて興味ないですよ。だが、南極っていろんな国が領土と主張しているんですよ。どれぐらいの国が領土と主張していると思います？

南極は9カ国の国が領土と主張しています。イギリス、フランス、ブラジルなどが、ど
ういう理由を言っているか、興味がありません。いくら主張しても日本の領土になりませ
んから。(笑い)

損得で考えて、「可能性あり」と思えば、領土だと主張するんです。それが世界共通なん
です。日本人に限らず、損か得かそれによって判断します。ここで道徳的な考え方は関係
ないんです。

例えばこの中国の領土問題、いつ頃から言い出したか？

これは石油が取れそうだったからです。1969年から主張し始めたんです。ここは石油
があるぞと。それから中国が主張し始めた。利益があるかどうかなんですね。

レジュメの4つの□の中に言葉を入れてください。

塩野 「それでは、Mさん」

Mさん 「自分自身に置き換える」

そうですね。自分自身に置き換えると分かり易くなります。領土問題というのは、単純に
言いたいことを言っているだけなんです。国際紛争の場合、国際司法裁判所が本当に根

拠があるの？ということを追求してくる訳ですね。開墾と同じ考えですね。私は今、埼玉県
の三芳町に住んでいます。江戸時代 17 世紀末に柳川吉保公が開墾した所です。開墾地
ですので、近隣の村の人たちがやって来るんですね。どういう風にやるかという、こっ
ちからここまでが俺の家が開墾したと縄を張って、入ってくるんじゃないぞとやるのです。
これが開墾なんですよ。領土問題は、すべてこれですから。領土問題と開墾地の考え方は
一緒なんです。早いもん勝ちなんです。それで世界共通の原理としてはなにか？この原理
は弱肉強食です。焼肉定食って言った人がいましたが（笑い）強いものが勝つ。弱いもの
は負ける。動物の世界と一緒になんです。これが領土問題の本質です。

そういう原則の中で大事件が勃発しました。昨年 9 月 7 日、記憶に新しいですね。中国
漁船が我が国の海上保安庁の巡視船に体当たりをした。こういう事件がありました。これ
は、あの一色正春という人が本を出して書いています。実は、**youtube** の前にマスコミに投
稿したんです。ところが取り上げてないんです。事なかれ主義です。あくまでマスコミは
youtube から引用ということで報道しています。実際に取材とかは言っていません。

問題は何かというと、本来ここで逮捕したときの罪名が大事なんです。何で逮捕したのか
罪名は？どんな容疑で逮捕したんですか？

（S さんに振る）

S さん 「不法侵入？」

本来ならそういう罪名で逮捕すればよかったんです。ところが、これは公務執行妨害です。

公務執行妨害は、相手が故意にぶつけてきた、巡視船の行動を完全に妨害するという意図がないと逮捕することはできません。本当に妨害する意図があつてぶつけたというのは、実証が難しいのです。これでは、逮捕ができないんです。始めから配慮があつた。

紛争はいやだから、初めから逃がすつもりだったとしか思えません。本来であれば、故意に我が国の領域に入って、魚を獲ったということであれば、これは立証しやすいんですね。

拘束もできるし、起訴もできる。ところが公務執行妨害では、起訴ができないんです。

始めから分かっていて逮捕したんです。一色さんが[sengoku38]という名前で youtube に投稿しましたよね。まさに仙石官房長官の意図なんですね。彼は元々弁護士ですね。法律については詳しいです。最初から、逮捕するなど。逮捕するんだったら公務執行妨害でし

ると、初めから指示を出していたとしか思えない。はなから釈放できるような容疑で逮捕する。沖縄地検の判断で釈放したなんて言うのは、嘘ですよ。指示しなければ沖縄の地

検が動くはずがありません。これは国家的な重要案件です。例えば会社の重要な業務を社

長に代わって勝手に判断しますか？

(Kさんに振る)

Kさん「できません」

できないですよ。社長の代わりに勝手に判断したら大変なことになります。組織の大原

則です。だから仙石官房長官が明らかに指示したとしか思えない。確たる証拠をだせと言われたら困りますけども。推測することができます。

どうしてここまで弱腰になっているのかというと、これは本日の重要テーマですが・・・

中国は、そんなに強行な手段にでるのか。明らかに故意にぶつけてきてますよね。

はっきりとした意図があつてどーんときてるんです。なぜ、そんなに強烈にくるのかと。

塩野「なんでこんなに強行にくると思います？」

(Lさんに振る)

Lさん 「脅しかな？」

そうですね。日本は引くだろうと。ここで考えて欲しいのが、隣の中国がどういう体制を敷いているかという問題です。わが国にも太平洋戦争の時、「総動員法」というのがありましたよね。

現在、中国では「国防動員法」という法律があつて、**18歳～35歳**までの男性は、非常時には、国家の命令に従うという法律になっているんです。知っていましたか？**18歳～35歳**までの男性は国が命令したら、戦闘要員になるのです。軍服を着ていない、民兵です。

例えば、この福祉センターで有事が起きた。そしたら、日本中に散らばっている中国人が一斉に押し寄せてくるんです。国の命令だから、皆従います。それが、法律なんです。中国の法律というのは、徹底しています。襲ってきたら、皆さんを置いて、私はすぐに逃げ

ます。(笑い)

前任の総理大臣の者がいますね。日本史上最悪の総理大臣です。この人が外国人に参政権を与えるというバカなことを言っている。そんなことをしたら、どうなりますか？中国人が、ドーンと何十万人も押し寄せてきますよ。当然日本国家が転覆します。わが国でもあれ程劣化した総理大臣というのは、日本開闢以来初ですね。あれで東大卒ですから呆れます。前職は、専修大学の助教授をやっていたらしいのです。大学の先生にはああいう人はいるんですよ。世間知らずで、大学の先生だったら誰も不思議に思いません。大学の先生たちに失礼かな。(笑い) 大学の先生でおさまっていればいいものを・・・政治家になって、総理大臣になってしまった。現職の総理が、ファッションショーに出て、腰振ったりして・・・今でもトンチンカンなことを言っていますよね。なぜ、総理大臣までになれたかという、H家の政治家の一族という家柄なんです。マラソンに喩えて言うと 30km 先を走っちゃっているんです。これから走ろうとしたら彼はもう 30km 先にいる。追いつけないですよ。一般の人が総理大臣になろうと思っても、30km 先に鳩が走っちゃっているんだから。鳩だから、飛んでいるかな(笑い) あと 10 キロ余り先がゴールなんです。これが家柄ということです。母親から献金を受けていることを知らなかったという人物が、総理大臣になってしまう。日本でしかありえない特殊ケースです。これはあくまでも日本人の行動特性の例です。悪口ではありませんよ。(笑い)

話を戻します。中国がなぜ強硬手段をとってくるかという、国家の命令だからですよ。

別に個人的にやっているわけではないんです。強行な手段をとっている理由は、国家の命令だからです。そして民兵、兵隊であるという理由ですね。逆らうことができないんです。一党独裁ですから。日本も戦前にそういう時代がありましたけども。やれって言ったら嫌だとは言えないんです。

本件の場合、日本はどうすべきだったのか、一色さんが言っていますけども、即座に証拠を出すってことです。要するにビデオを世界に向けて発信する。中国漁船が日本の巡視船に体当たりをしてきたと。これを堂々と世界に発信すべきだったのです。ビデオは、動かぬ証拠なんですから。一色さんは、法律的には違反だったかもしれませんが、

youtube に投稿した。それまで、日本国民はそれまで全く知らなかったわけです。本来は、国の判断で世界に訴えて・・・中国がこんな卑劣な手段で、日本の領域を侵しているというのをアピールできなかったというところに大きな問題点があったと。中国は、日本のことを舐めているんです。日本はどうせ歯向かってこない。何が狙いかというと、アメリカがどうでてくるかということを試したかったんです。日本のバックのアメリカがどんな反応をするかということですね。例えば、チンピラが、いきなり肩をぶつけてくる。「まっすぐ歩けよ」というのは言いがかりですよ。それと同じことです。自分でぶつかっておいで、相手に非があると。自分に非があることを認めない。これを「言いがかり」といいます。これが今回の狙いです。言いがかりをつけたときにアメリカをどのように反応す

るかというのを見ているんです。アメリカはそんなに強い態度を見せなかったですよ。

一応、表面的には日米安保条約が適用されると。弱弱しい表現だけど、言いました。でも、あまり強い態度をとれない。

(Sさんに振る)

塩野「どうしてですか？」

Sさん 「中国と対決したくないから」

そうですね。中国と対決したくないのが本音です。大きな理由は、貿易です。今のアメリカ経済というのは中国に委ねています。中国にそっぽ向けられたらえらいことになります。だから、強く言えないのです。おたくと付き合うのはやめるよと言われてたら、アメリカは大変なことになります。仕方なく、口をつぐむんです。ですから、アメリカがいいとか悪いとかいう問題ではありません。アメリカ人、中国人が特別おかしい感覚を持っているわけではないんです。ごく普通のことを言っているだけです。日本は、問題を先送りして、ずるずるしているから問題の解決ができない。これを事なかれ主義といいますね。

これは日本人の体質です。次にレジメの2枚目にいきますね。国際法のポイントと書いてあります。国際紛争は、国際司法裁判所に訴える訳ですね。先ほども言ったように南極大陸は、9カ国が「領土権」を主張しています。何が証拠になるかというと、実行支配です。実際に支配することです。司法、立法、行政と言いますが、要するにそこに生活があ

ったかどうかなんです。日本がそこを支配したという証拠があるかどうか、これを立証できればいいんです。例えば、魚釣島には、最盛期に 99 世帯、237 人が生活していたという記録があります。実行支配していたんです。日本政府が。証拠があるんですね。しかし 1940 年以降、無人島になっているんです。69 年に、石油埋蔵の発見があつて、中国も台湾も俺のものだと言い始めたのです。それまでは何の価値がないので誰も見向きもしなかった。価値があるとなれば、領有権の根拠が必要になってくるということです。日本には、決定的な証拠があるんですよ。皆さん、知りたいですか？

(参加者全員に問いかけると、1 人が「はい」と大きな声で答えた)

決定的な証拠とは・・・ 1920 年、中国は当時清朝ですけども、漁船乗組員 31 人が尖閣諸島に漂着したんですね。その時、日本人が手厚く保護した。それで当時の清朝政府が感謝状を発行したのです。そこには、日本帝国沖縄縣八重山郡尖閣列島宛に感謝の言葉を述べられているんです。この感謝状は、現在石垣市に保管されています。これは絶対的な証拠です。中国が自ら出しているんですから。しかし、そこを突かないで、うやむやにしちゃっている。日本政府は、腰が引けている。事なかれ主義です。論理性という理解がまるでないのです。

2 つめ、第二次世界大戦の敗北にいきます。この中で戦争体験した人はいませんね。私ももちろん経験したことはありません。両親とかあるいはおじいちゃん、おばあちゃんから伝え聞いたということだと思えます。そもそも第二次世界大戦、日米戦争とは何だった

のか。きっかけは、ABCD 包囲網です。これは A は America ですね。B は British でイギリスですね。C は China です。D は Dutch でオランダですね。ABCD 包囲網とは、これは、日本に石油を一滴も入れないぞとこういうアメリカの戦略なんです。一滴も入らなかったら、日本は干し上がってしまいますよ。3・11 大震災後、私も経験しました。直後、ガソリンスタンドが閉店休業状態で、ガソリン補給ができない。仕方なく、自転車で事務所との往復約 40km を自転車で通いました。石油がなくなったらパニックになる、皆さんも記憶に新しいですね。当時も重要な資源だったんです。それを日本に入れない。日本は交渉しましたよ。当然、石油が欲しいと。ところがアメリカは聞かないですよ。なぜかというところを困らせて日本を戦争に引きずり込むのが戦略なんです。アメリカは、中国が欲しかったのです。その前に日本が立ちほだかっているわけです。中国大陸に行けない。当然、日本は目ざわりです。アメリカのやり方は、相手から仕掛けさせる。仕掛けさせといてお前が悪いと。こういうやり方をするんですね。真珠湾の時も、いつものパターンです。暗号はすでに解読されていたので、日本が攻めてくるのは分かっているんです。だから、最小限に食い止めるればいいと・・・日本は、沖に停められていたオンボロ戦艦を 2,3 隻壊しただけで終わっちゃったんです。本来は、石油コンビナートを壊すべきでした。戦争なんだから。ところが心臓部を狙わずに、喩えて言えば、中古車 2, 3 隻を壊して帰ってきたんです。これが真珠湾攻撃ですね。知ってましたか？誰が指揮をとったのかと。有名な軍人が指揮を執りました。スパイじゃないかという人がいるぐらいですね。これは後で

検索してもらえれば分かります。アメリカと内通をしているのではないかと。疑いたくなりますよ。さっきも言いましたけど、中古車ですよ。役に立たないものを壊して帰ってきたんです。そういう風に設定されたのが真珠湾攻撃です。そして当然のことですけども、敗戦となります。始めから勝つつもりだったのかというと、始めから負けることが分かっていたんです。開戦前に、大学の教授であるとか研究所、日本の頭脳といわれる人たちが集められたんです。アメリカと戦争をして勝てるか、分析したのです。お互いにいずれ戦争になるということを 1920 年頃（当時から 20 年前）から意識していたことが、双方の文書が残されています。出された結論は、アメリカに負ける。本来はやらなければいいんですね。

では、なぜ戦争をしたのかということですけど、これが歴史の不可思議なところではあるんですけども。日本はその当時は連戦連勝ですよ。喩えて言えば、W 杯の決勝戦です。世界の 5 大国に入っていましたので、国民は、アメリカに勝って優勝できると思っていたのです。決勝戦を辞退しますか？途中で逃げ帰りますか？日本は世界一、国民感情が強い国なんです。例えば日露戦争ではこんな事件がありました。日露戦争というのは、国力が 10 倍のロシアに表面的には、勝ったのです。実際は日本は金がなくて、戦争を続けられないのでアメリカに仲裁を頼んだのです。幸い、ロシアに革命が起きていました。

このため、規律が弱っちゃって、戦闘状態になかなか耐えられないんですよ。ロシア兵は。内部がガタガタしていますから。そういう状況、両方とも弱っていたんです。講和会議で、

日本の小村寿太郎は、賠償金を取らずに帰ってきたんです。そしたら何が起きたか。

日比谷焼き討ち事件です。小村という奴はけしからんということで日比谷焼き討ち事件が起きたのです。日本人が自国の領土に火をつけたんです。政府を批判するために。こんな事件があったんですね。野球ファンが最弱チームが負けると選手に卵を投げたりします。腹いせの感覚に似ています。

日本は、ぎりぎりまで水面下で和平交渉をしています。しかし、「駄目押し」として、ハルノートというものが日本に突きつけられたのです。内容は、中国大陸からすべて引けと。「分かりました。満州をあきらめます」とは言わないですよ。そもそも満州は、中国の領土ではありません。清朝を作った女真族の領土です。革命によって、中国本土を追われただために女真族の元々の領土、故郷である満州に戻り国を建てたということなのです。日本に喩えると、北海道のアイヌ民族が、江戸で政権をとった後、明治維新が起きたので、北海道に戻り、改めて国を作り直したということなのです。満州は、日本が権益を求め、背後で王権を操作した事実がありますが、当時は、諸外国の承認のもとで、満州国が運営されていたのです。これは、今回の中国漁船と同じく、日本からすれば、「言いがかり」としか思えない暴挙だった。理屈のうえからも、引くことができない当時の情勢です。

考えてみてください。日清、日露と連勝しているんですよ。最後は、W杯に喩えれば、アメリカとの決勝戦です。ちょうど少年期に日露戦争の勝利が焼き付けられた人たちが、軍

部の指導者なのですから。日露戦争も負けると思って戦った戦争なのです。だから今度も勝てると思ひ込んで、戦争に踏み切ったのです。中国大陸をあきらめて軍を引いたと言ったら、国民が何を言いだすか分からない。国民は勝つと思っています。知識がないんですから。日本の頭脳の人たちはわかってますよ。アメリカとやったらどうなるかと。負けるという結論を出しているんですから。しかし、日本国民は納得しませんよ。相手が、アメリカでも戦争するしかないという状況だったんです。

ここが、今日の最も大事なところですよ。歴史に「たら、れば、はない」と言います。もし、ここで国民にはっきりと事情を説明していたらどうでしょうか？調査機関が内容をつぶさに公表し、国民の了解を得ていたら、日米戦争は無かったかも知れません。勝つ可能性がゼロであることを国民に納得いくまで、説明責任を果たす。これには、当然、前提条件が必要です。知りたいですか？

日本国民すなわち政府も国民も論理的に考えて行動する能力が備わっているということです。政府は、負ける理由を理路整然と国民にプレゼンするのです。国民は、しっかりとノートを取り、当時で言えば、録音を取りながら聞くのです。もちろん質疑応答自由として、市町村単位で説明会を開き、国民のコンセンサスをとれば、戦争回避できたかも知れません。当時、国民を説得するという事を考えた閣僚が皆無だったのは、非常に残念なことです。日米戦争という破滅の方向に進んでいったのは、論理的思考力をもった強烈なリー

ダーがいなかったという証拠になります。

当時の日本とアメリカは、小学生と大学生の違いがありますよ。マッカーサーが、「日本人は、12歳の少年だ」と言ったそうですが・・・最初、小学生でも寝てるところを襲えばケガぐらいさせることができます。ところが目を覚ませば、大学生と小学生では勝ち目がないんですよ。国民総生産12倍、自動車数160倍、石油所有量720倍、国力の差は明らかなんですから、長期戦が続かない。

敗戦後、東京裁判というのがありました。通常は、自国の判事が加わるんですよ。裁判官に。ドイツなんかドイツ人が加わっているんですから。日本は加わっていないんです。一人も。日本は、日本人を裁けないんです。ほぼ欧米諸国の判事ですよ。一方的に裁かれたんです。そのときの条件が、連合国の罪は一切問わない。原子爆弾も一切問わないと。本来は、アメリカが裁かれる立場なんですよ。喩えて言うと、日本ではYという組織があります。そういう組織が、無警察状態で、人殺しをしている。反抗しますか？反抗できませんよね？普通であれば口をつぐみますよ。命が惜しいから。当時、そういう国際情勢だったんですよ。東京裁判というものは。これに堂々と異をとなえたのはインドのパール判事たった一人です。この人だけが、「この裁判は無効だ」とはっきり言ったんです。他は、誰も言わない。怖いからですよ。何をされるか分からない。A級戦犯7人が絞首刑になっています。ここで考えて欲しいのが・・・例えば石井細菌部隊、石井は、中国人に対し、

人体実験をしていた。この者は無罪でした。なぜ無罪だと思いますか？情報提供ですよ。

アメリカに、細菌研究をレポートしたのです。従って、人体実験は、無罪放免です。これは証拠があるのかと言われると困るんですけども、本間雅晴という陸軍中将という人がいました。フィリピンで戦功をあげた人です。フィリピンで処刑されたことになっているんです。しかし、処刑されたことにして、アメリカで生活していたということが数年後伝えられた。この真偽については、不明です。まだあります。岸信介、この人はもともとA級戦犯ですよ。しかし、戦後日本の総理大臣になっています。情報提供すれば、逃れられるんです。結局、アメリカにとって損か得かなんです。無益な者は絞首刑になったのです。

アメリカのしたことは、日本人に罪の意識を植えつけることでした。日本人に誇りを捨てさせた。この「自虐史観」を具体的に進めたのは日教組です。GHQの元に組織化された教員組合です。日教組の代表が民主党にいますよね？興石参議院という人です。民主党の体質が分かりますね。民主党が左翼政権だと言われても仕方が無いんです。

左翼政権というのは具体的には、どんな方針ですか？右翼というのは天皇制を尊重するということです。左翼というのはその逆で天皇制を否定する立場です。共産党というのは天皇制度を認めてませんからね。天皇陛下が、国会の開会を宣言するんです。これから始まりますっていうのを。国の象徴ですからね。天皇陛下が退出されるまで、共産党は国会議事堂に入らないですよ。共産党というのは天皇を否定してますから。天皇制を否定する政党が左翼なんです。民主政権は、公然と天皇制を否定しませんが、このことを綱領に書けな

いために綱領を作成しないと思われます。従って、中国に擦り寄る。そういう政権が民主党政権なんです。

漁船の衝突事件の際、仙石官房長官は、丸山参議員と電話でやりとりをした時、丸山さんが弱腰を非難し、「中国の属国になってしまうぞ」と言ったら、「今に始まったことではない」と官房長官が言ったと。それを聞いて丸山はあきれて、暴露した。国会で追及されると仙石は・・・いくら興奮しても呼び捨ては、いけませんね。(笑い) 仙石さんは、記憶力が乏しくて、言ったかどうか思い出せないと応えていました。民主党官房長官は、日本をアメリカか中国か分かりませんが、日本はいずれかの国の属国と認識していることは、まさにアメリカの戦後占領政策「自虐史観」が成功したということになります。現在、2割程度の国民しか「愛国心」がもてないのは、アメリカが植えつけた「自虐史観」の結果ということなのです。当然ですね。貴方の親は、人殺しだと教えこまれたら、誰だって尊敬できません。

=休憩後

10人の参加者を半分に分け、社長の良い点を探りあげ、項目数の多いチームが勝つというゲーム形式のワークを行いました。5分間で、「リーダーシップがある」などを採りあげたチームが6対5で勝ちました。すぐに良い点を言うことは、普段意識していないとすぐに出てきません。H社長の行動特性を伺い知ることができました。

人間は、お互いいいところを見ればいいのです。完璧な人間はいませんから。

普段からプラスのところをみると、その人と会うのが楽しくなりますよね。悪いところをみていると嫌になってくるんです。「どうして、目の前にいるの」というふうになりますからね。プラスのイメージで人とつきあっていくと、これが損か得かといったら得なんです。

それが、自分を大事にするということなのです。自分が大切なので、人も大切にする。

嫌いになると、脳波が伝わるらしいのです。UさんだったらUさんの脳に直接ぶつかるのです。目には見えませんが、分ってしまうんです。普通の感性の持ち主であれば・・・

この人は自分のことを好きではないか。すぐ分りますよね。

(Uさんに振る)

塩野「私は、貴方のことが好きでしょうか？嫌いでしょうか？」

Uさん「分りません」

そうです。分らないが正解です。好きか嫌いかという脳波を私は、送っていませんから。送れば、分るんです。好きか嫌いかというが。これは経験上分かりますよね。好きなら好きっていう脳波を送れば、相手に伝わる。でも、嫌いだったら嫌いという脳波を送っちゃいけないんですよ。嫌いというのはマイナスのところを見るから嫌いになるんですよ。プラスのところを見れば嫌いになりません。

魚釣島が欲しいと言っている人。隣国の人ですけども、好きになる必要はないですけども、

嫌いになる必要はないんですよ。普通のことなんです。大半の人は理由なんてわからず
に行動しているんです。人間は、感情の動物なのですから。国が中国の領土だと言ってい
るから、そうなんだと思っているだけです。韓国もそうですね。国が韓国の領土だと言っ
ているからそう思っているだけなんです。だから、韓国人を嫌いになったりとか、中国人
を嫌いになったりする必要はないんですよ。我々の日常生活と一緒になんです。いいとこ
ろを観ればいいんですよ。嫌いになると接したくなくなりますよね？喋るのも億劫になる
んですよ。嫌いな人間と喋るのが好きな人はいませんから。

ということで後半のテーマに進んでいきます。それでは、日本及び日本人の特殊性を考え
てみましょう。これは日本だけの特性だということを考えていきましょう。

(Mさんに振る) これから塾の授業ですか？私も塾の経営をしていたことがあるので分か
りますよ。新しい解き方を教えると信頼が生まれますよね。この先生は違うかと・・・常
にアンテナを張っていれば、何か発見ができます。

(Mさんに振る)

塩野 「日本の特殊性って、何か思い浮かんできませんか？」

Mさん「??？」

体制的なことで、何か浮かんできませんか？それは天皇制です。日本だけの特殊な制度で
す。3月、大地震があっても日本が大混乱にならないのは天皇陛下のおかげなんです。我々

が団結できるのは天皇陛下がいらっしゃるからです。貴種信仰ですね。単なる国王とは、違います。各被災地を激励に回られて、ほとんどの被災者が感激して、涙ぐんでいましたね。天皇制度は、世界に類をみないんです。125代続いています。欠史8代と言われ、2代目から9代目までの天皇は、創作と考えられています。従い、10代目以降が本当に存在したのではないかというのが定説になっています。日本書紀では、今から2650年前に日本の領土の中に天皇が出現したというになっている。そこには疑問がありまして、だいたい2世紀から3世紀頃大和朝廷の出発点があったらというのが一般的には言われているんです。確実な証拠を出せと言われると困るんですが。そういうふうには天皇家というのが有史以来、日本国家の象徴として君臨されてしている。アメリカ大統領が、最敬礼をもって接するのは、日本の天皇陛下とローマ法王、イギリスエリザベス女王の3人と言われています。その法王も女王も天皇には、礼節を尽くされています。要は、世界一尊敬されているということです。

日本人なら、100人いたら97.8人くらいの方が、尊敬する気持ちがあるのではないのでしょうか？天皇陛下を尊敬しろなんて、無理強いされなくても、尊敬の気持ちを持っています。別に理屈ではありません。日本人のDNAです。

次に挙げるのは国名です。これは1300年余り、変わっていないんです。例えばアメリカが今世界の中心になっていますが、まだ建国230年位なんですよ。韓国も中国だって何度も

国名が変わっていますよね。日本は、701年大宝律令以来、日本と定めてから一度も変わっていないのです。遣唐使が、中国に説明しに行って、それまで、中国が日本のことを倭とよんでいました。本当は、平和の和です。これが我が国の名前でした。国旗は、日の丸です。運動会では、必ず飾りますね。太陽の国なんです。邪馬台国の卑弥呼は、日の子、つまり太陽の子なんです。すべてを生み出す太陽が国の象徴とは、素晴らしいことです。日本だけが太陽を国旗として、世界中の国が認め、クレームをつけたり、マネをしたりしない。本当に不思議な国です。

そして、第3の特徴は単一民族ということです。例えば北海道のアイヌ民族、沖縄の琉球民族という言い方をすることがありますけども、現在同化しています。縄文人ですね。大陸や朝鮮半島からの稲作移民たちと同化できなかった人たちが、地図で言うと本州の上と下に移動し、住みついたということです。今、沖縄に行っても北海道に行っても、NHKアナウンサーが話しているような共通語を話せますよね。日本はどこにいても日本語が通じる。アメリカも中国もいろんな民族がいます。アメリカなんてのは特に人種のるつぼと言われています。これは日本だけですよね。今回の震災でも、自然に援助したいという気持ちになれるのです。皆さん、事前アンケートに書いてありますけども、地震後、節電していると。これは日本人だからなんですよね。天皇陛下がいらして、日本という国名、単一民族ということで同じ気持ちになれるんです。同じ国民がそういう被害を受けているとわかると同じ気持ちになれるんです。他の国ならば、食物の奪い合いが始まりますよ。と

ころが日本人は、並んで食料を貰います。行儀がいいですね。一番いい例が、信号機です。どこの国に行っても信号機はありますよね。ありますけども、完全に無視とまではいきませんが、参考程度なんです。信号機は、よその国の人たちは参考程度なんです。日本人の場合、赤信号を見たら停まらなくてははいけないと思いますよね。これが DNA なんです。自然に親から聞いた言葉、回りから聞いた言葉、学校で教わったこと、すべてに DNA が組み込まれています。別に教わったわけではないんだけど、こういった震災が起きたときに、自分は節電しなくてとはとか、赤十字社を通じて募金するとかできるんです。これが日本人なんです。

4 番目は、言語です。日本の言葉というのはすべてが母音であると。どういう意味かわかりますか？英語を習ってはじめて母音とか子音とか聞きましたよね？母音というのはストレートに、破裂させずに出す音です。そのままストレートにでてくる言葉が「あいうえお」なんです。子音というのは、破裂音です。例えば、「か」だったら **ka** ですね。か、というのは **k** と **a** を同時に発音するんです。「か」と「あ」を分けて発音する人はいませんね。母音は、穏やかに聞こえる音なのです。他の音が混じりませんから。日本語の場合、全部母音が絡みます。ところが英語は、例えば **kill**、**ll** は子音ですよね。子音というのは戦闘の言葉なんです。戦闘、言い争いをする時に向いた言葉なんです。例え、夫婦喧嘩でも穏やかなんですよ、日本人は。(笑い) 韓国なども、子音が多いんです。聞いていると喧嘩し

ているように聞こえます。

1 万年前に日本は、大陸から離れて島国になった。それから、しだいに今で言う独自の日本語が形成されていった。すべて母音を含む穏やかな言葉です。五十音最後の「ん」も元々は「む」です。

沖縄みたいに暑い地域とかがありますが、日本は、春夏秋冬、非常に暮らしやすいのです。これが、5 番目です。言葉が穏やかそして気候も温暖で過ごしやすい。働きやすく、勤勉タイプになりやすいのです。国土も穏やか、こういう国柄なのでどういう民族が形成されるかという、争いを好まない人間を多く生み出す。悪く言えば、事なかれ主義なんです。元々戦闘が嫌いなんですよ。例えばディスカッションが好きな人はいますか？討論が好きだと。

日本というのは論理性に欠ける文化なんですよ。具体的にどういうことかと言いますと、皆さん、学校で古文を勉強しましたよね。もともと句読点なんてのは無かったのです。徒然草も源氏物語も原書は、句読点や段落無しで書かれています。それが、日本固有の文学なんです。論理ではないんです。論理というのはたくさんの民族がいるので、説得するために論理が必要になるんですね。日本人は同一ですから説得する必要がないんです。

だから、日本人は論理不要民族なんです。

例えば朝日新聞で句読点ができしたのはいつでしょうか？

昭和 25 年なんです。それまでは新聞に句読点がなく、段落構成も無かったのです。その理

由は日本は同質だから説得する必要がなかったということなんです。ヨーロッパでは、論理性に欠ければ、説得できないんです。アメリカは、訴訟社会と言われています。

裁判ですよ。

しょっちゅうもめ事しているんです。弁護士がいくらでも足りないぐらいです。日本ではあまり訴訟がないので、そんなに弁護士がいないんです。制度が変わって弁護士をいっぱいつくろうとしていますけども、そんなにいませんよ。訴訟がないので。ですから弁護士であっても生活が立ち行かない弁護士は結構いますよ。借金の整理で稼ぐ弁護士が多くいます。それぐらい日本では訴訟が少ない。借金を抱えている人は、実に多い。今日の参加者には、いないと思いますが（笑い）

訴訟がないので、あまり世の中では弁護士が必要とされていないということなんです。

6番目は、島国であるということです。周りに朝鮮半島、中華人民共和国、台湾がありますよね。悪口言葉がどれくらいあるかということ、日本が1だとすると中国、韓国は何倍あるでしょうか？研究者によると約3倍あるそうです。日本ではあまりそういう侮辱する言葉ありません。それだけ争いことが少ないということなんです。例えば、エレベーターを乗るときもこいつは怪しい奴だなと思って乗ることがありますか？思わないですよ。皆同じ日本人だから危険性を感じないのです。日本の特異性は、以上の6ポイントです。

日本は和の国です。和の精神なんです。なぜ似た人間を好むのか？これは世界の共通ですよ。例えば like という言葉がありますが、これには似ているという意味もあります。似ている人を好きになるんですよ。反対の人を好きになりません。これは世界共通ですが、日本人は特に争いたくないという気持ちが強いんですよ。似た人間を好む傾向が強い。

例えば、小山昇という人がいます。この人の経営している会社は、最終面接は小山社長本人が一人でやるそうです。面接では、小山昇と同じことができるかと聞くそうです。それは、できないという人は落とすそうです。例えば東大とか慶応とかそういう人たちを採用しないそうなんです。あなたは優秀だからこの会社にはもったないので、よそへ行ってください。優秀な人は採用しませんと。普通は逆ですよ。自分と同質ではないと指揮系統が鈍りますよね。戦中の軍部と一緒にですね。やれといたらやるという人しか採用しない。これが小山昇の採用の仕方なんです。

もう一度、最初から言いますよ。

1 番目は、天皇制です。次に日本という名前。それから単一民族であるということ。4 番目、穏やかな言語、日本語を使うということ。5 番目、気候が温暖である。最後は島国であるということ。

中国からの留学生が増えましたが、大半は日本人ですよ。中国人は、どこか違いますよね。日本人だったらこんなファッションしないなとか、どこか違う格好をしていますよ。話を近くで聞くとやっぱり中国人だったと。雰囲気が違うんですよ。韓国の人は、似て

いますが、DNA が違うんです。韓国や中国の人たちは日本に侵略を受けたと教育しているので日本を憎んでいる人が多いですけどね。日本に攻められたとか色んなことを刷り込まれて、DNA になっているんです。こういう DNA を拭い去るには日本に来て日本人と接するしかないですよ。朝鮮半島にいたまま、中国大陸にいたままでは、日本人は悪人なんですよ。

塩野「Kさん、韓国にいったことありますか？よその国はどこにいったことありますか？」

Kさん「アメリカに行きました」

アメリカ人は、日本にいろんな人がいるなぐらいしか思っていないですよ。例えば韓国なんかに行くとも日本人は悪いと思われている。特に家族に何かされた人は、憎んでいます。恨みを子供に伝えますよね。日本人は悪党で、財産をもってかれたとか。だいたい 100 年、3 世代伝わります。恐ろしいですよ。100 年続くんです。だから韓国や中国の人たちの DNA に刻まれているんです。DNA に刻まれているうちは、難しいです。イメージされているものを消し去ることは難しいです。プラスに考えていくしかないんです。

本日、サービスでちょっと本題からはずれません。

コミュニケーションについて少し触れます。基本は、最後まで話を聞くということです。

これは意外とできない人がいますよ。コミュニケーションというのは相手の話を最後まで聞くということなんです。うなずきながら聞くんです。しかも、笑顔で聞く。聞く時は相

手に体を向けて姿勢を正してきくと。話している人のほうを見ないで話を聞いている人もいますよね。こういう人は嫌われますよ。この人と友達になりたいと思った人の話は最後まで聞くことです。ポイントは、何かというとイエスかノーかで終わる質問をしないということです。例えば、暑いですか？という質問。はい、暑いです、すぐに終わっちゃいますよね。そういうすぐに終わっちゃう質問はダメなんです。何がいいかというと、相手の得意なことを喋らせる。この中に巨人ファンの人はいいますか？社長は何ファンですか？」

社長「巨人ファンです。」

塩野「どんなことを聞いてほしいですか？」

社長「一番感動した試合」

「そうですね。そういう質問をすれば永遠と喋りますよ。得意分野ですから。相手が好きなことを察して、喋ってもらえばいいんです。まず、相手を好きになって最後まで話を聞くということです。友達になりたければですよ。人間は自分が知っていることを喋りたくなるものです。相手が話をしているときに遮るからダメなんです。あなたとは友達になりたくありませんよといってるのと同じなんです。早速、今日から最後まで聞いて、喋りたいことを喋らせることを実行してください。」

今後グローバル社会に向けて重要視される能力は、論理的思考力です。

そこで、最後に「命題」を学習します。命題とは、正しいか正しくないかを客観的に判断できる事柄を意味します。例えばビデオとか感謝状。感謝状なんてのは、真偽の判断が容易です。これは決定的な証拠になります。

例えばジャイアント馬場、古いですか？私の年が、バレますね。(笑い)

ジャイアント馬場は背が高い。

塩野「これは命題ですか？」

Sさん「はい、命題です。」

塩野「本当に命題ですか？ジャイアント馬場は2m8cm あったとされています。例えば2m10cm が10人いる中に1人だけ2m8cmが入れば、どうなりますか？背が低いということになります。動かない客観的な材料によって命題と定義するのです。2m8cm というのは動きますよね。というのは比べる対象によって動いちゃうんです。ということでこれは命題とは言いません。相手を説得するときは動かぬ材料をもってこなくてはなりません。色々と材料を用意して、創意工夫するのです。

最後になりますけども、そういうことを複線思考というんですね。これが、本日のまとめです。例えばりんごの落ち方。りんごの落ち方というのは予測できますよね。台風とか風がない場合ですよ。予測できますよね。ところが葉っぱ。予測つきませんよね。

どこに落ちるかわかりませんよ。この中に将棋が好きな人はいますか？将棋は相手の出方によって、アマでも 10 手先くらい考えますよね。これを複線思考といいます。野球の監督などもそうです。社会で成功するためには、複線思考であるべきです。そして客観的な材料を用意して、相手を説得することです。今後、日本人が最も重点的に身に付けるべき能力は、論理的思考力です。さあ、今日から頑張って、論理頭を鍛えましょう。

社長「最後に、1 人だけ質問を受けます。」

(質問者 F さんが、手を挙げる)

F さん「なぜ、日本は江戸時代に他国から攻められなかったのでしょうか」

日本というのは他国に蹂躪されたことがないですね。第二次世界大戦のときは東京大空襲がありましたけども・・・ B29 が爆弾を落とすだけなんです。国土に降りてきたわけではありません。攻められたことが無い、そういう珍しい国なんです。これにはいくつかのポイントがあります。

ヨーロッパの人たちは、日本人の尊厳を認めたのです。これほど、豊かな国はないと。金銭的な意味ではないですよ。外国の人たちが日本に来た多くの外国人が、記録に残しています。

何を基準にするかということ、都市の規模なんですよね。100 万人都市は、当時世界に江戸だけでした。巨大都市は、豊かな文化をもっているという証明になるのです。

江戸文化というのは、お辞儀をするんです。今、長友選手がヨーロッパで「お辞儀パフォーマンス」していますけどもね。江戸の人たちは、知らない相手にも、すれ違えば、お辞儀をするんですよ。お互いを尊うのが、江戸文化、日本人なのです。

それに女子教育を含めた識字率の高さは、世界1位でした。例えば、諸外国の人が驚いたのが、牢屋の番人が文字を読むことができること。当時、寺子屋などで町民、農民も平等に文字を習っていたのです。これはすごい国だということになったんです。日本文明も8大文明に入れたらどうかという学者もいるぐらいなんです。それほど日本はすごい国なんです。

それに身分差が無いこと。相手が、藩の重役であっても堂々と自身の意見を述べていることなども驚きの目で見えていたんです。インドなどでは、階級が違えば、床屋さんでも相手の頭に触れられないですから。まさに平等社会、1億中流社会です。農民から関白になった秀吉、総理大臣になった田中角栄などは、日本だけに起きる現象です。本当に勝れた日本民族を欧米諸国は、尊敬の目で観ていたために攻めなかったということです。

この後、見事に明治維新を行い、富国強兵策を取り、欧米列強に並び、アジアで唯一植民地にならず、欧米に対抗したのは、日本だけです。インドに行けば、日本人は、イギリス人を追い払ってくれたと未だに感謝されます。

最後に、元皇民（上杉重雄）として、南方戦線で従軍した台湾人（鄭春河）氏が、「嗚呼大東亜戦争 真実の歴史」・（表現社・東京板橋区）と題して、日本をもう一つの祖国として、

繁栄を祈る書を出されていることを紹介して、今回の研修会を終了します。

皆さん、日本の先人たちに誇りをもちましょう。そして、論理的思考力を身につけましょ
う。